

先進企業による発表会！

アイシン、三五、ダイキン工業

不良ゼロのための「良品条件」

～設備・加工技術で品質をつくりこむ～

日時：2023年7月20日（木）10:00～16:30

会場：ウインクあいち（名古屋市中村区名駅4-4-38）名古屋駅から徒歩1分
および

WEB受講 ※WEB会議システム「Zoom」を使用するライブ型受講

<先進企業による発表事例>

1事例目：株式会社アイシン 「マイクロ抵抗溶接における爆飛不良の低減」

マイクロ抵抗溶接の爆飛不良は段取りの基準が厳しいため、維持ができず良品条件の崩れにより加工理論が成立せず、不良が発生していた。加工技術として設備や治具を自社開発し、これをもとに加工理論を成立させる加工条件とそれが崩れないための付帯条件を決め、爆飛不良の低減に取り組んだ事例を紹介する。

2事例目：株式会社アイシン 「自主保全による樹脂微粉除去と異物不良」

切削クーラント油の管理や、異物や汚れ付着の除去などは、日常点検や清掃などのきめ細かい管理が必要であり、同社の樹脂成型の異物不良は、付帯条件の管理として自主保全で一番大きな負担となっていた。スクリーやホッパーなどを清掃すれば防げるが、その発生する理論を調べ、除去の方法を自主保全中心で取り組んだ事例を発表する。

3事例目：株式会社三五 「切断パイプの切りカスによる圧痕キズ改善」

パイプ圧痕不良の対策に取り組み、発生メカニズムを解析したところ、切りカスを押しつぶしながら切断していた事が判明した。切断刃の形状を見直し、せん断領域を広げる事で押しつぶしながら切断する領域が減少し、切りカスによる不具合が低減した事例を発表する。

4事例目：ダイキン工業株式会社 「CXC系統液面計座 ガス洩れ削減取り組み」

有能なベテラン作業員の退社で世代交代した途端、品質不良（溶接不良）が増加。サークルメンバーでQC手法を用いて分析し、溶接という高度な技能の暗黙知を見える化する為に治具を製作し、標準化に成功！現場の品質不良削減・生産性向上・溶接技能伝承工数削減した取り組み事例を発表する。

<ファシリテーターによる講演>

- ① 良品条件マネジメントの全体図
- ② 良品条件の仕組みと考え方
- ③ 加工点（加工理論と加工技術）
- ④ 良品条件のアプローチの手順
- ⑤ 自主保全（専門保全）と良品条件
- ⑥ 良品条件の演習
- ⑦ 発表会のまとめ、質疑応答

ファシリテーター

生産保全技術研究所
所長 長田 貴氏

主な経歴

1972年 ㈱日本能率協会 入職
PM、IE、QC、工程管理などの
工場管理全般のコンサルティング
1980年 生産保全技術研究所 設立
現在 生産保全技術研究所 所長
(公社) 日本プラントメンテナンス協会
TPM優秀賞審査員



お問い合わせは
こちらまで

TEL 052-561-5634
E-Mail jipmchuubu@jipm.or.jp



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
Japan Institute of Plant Maintenance

発表会の開催にあたって

<概要>

- モノづくりは究極の品質とコストの競争であり、その環境は目まぐるしく変化し、かつスピード対応が求められています。それに伴い、設備や生産システムの改革が要求され、現場を含め対応が必要です。その改革の一つの手法として、**加工点研究で良品条件を追求し、「不良ゼロ」を達成するための良品条件マネジメントによるアプローチ**があります。発表会では**先進企業による発表事例と良品条件マネジメントの第一人者であるファシリテーターから「設備で品質を作り込む」ための考え方・アプローチ方法を学び、良品条件とその管理および究極の未然防止活動につながる**内容となっています

- 製品不良に困っているご担当者には是非ご参加いただき、自社の不良を撲滅する第一歩としてしていただきたく、ご参加をお待ちしております！！



<使用テキスト> 先進企業の4事例発表資料、「不良ゼロのための「良品条件」」講演テキスト

発表会の特徴

- 良品条件追求（加工点解析）の先進的な取り組み企業の4事例の発表や演習を通じて、より実践的に良品条件を理解します
- 製品品質と良品条件の関係を理解するとともに、良品条件を追求し、「不良ゼロ」を達成するための考え方・アプローチ方法を学べます
- TPM指導の経験豊富であり、良品条件マネジメントの第一人者であるファシリテーターによる、良品条件マネジメントの説明・事例の解説

<会場地図> ウィンクあいち



名古屋市中村区名駅4-4-38 ウィンクあいち

JR、名鉄、近鉄、地下鉄
「名古屋」駅から徒歩5分

対象

- 製造部門・改善・生産技術の管理監督者、チームリーダー、担当者
- 品質保全・品質管理の責任者、担当者
- 設備管理部門・工機部門の担当者



参加申込み規定・ご案内

1. 参加料

(公社)日本プラントメンテナンス協会 (正会員、事業所会員) (一社)日本能率協会 法人会員	33,000円/人(税込) (本体価格30,000円 消費税3,000円)
一般	44,000円/人(税込) (本体価格40,000円 消費税4,000円)

※参加料には、テキスト（資料）代が含まれております
※昼食のご提供はございません
会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
・(公社)日本プラントメンテナンス協会HP
・(一社)日本能率協会

2. 参加お申込み・参加料お支払い方法

- 当会HPの専用申し込みフォームよりお申し込みください
URL：<https://www.jipm.or.jp/offer/>
電話でのお申込みは受け付けておりません
FAXのお申込みをご希望の場合は、お問合せ先にご連絡ください
- 開催の約2週間前より、派遣窓口ご担当者様宛に受付票・会場案内と請求書を送付いたしますので、開催後1ヵ月以内に、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込手数料は貴社にてご負担ください



申込み

3. お願い・お断り

- 録音・録画に使用する機材の持込みをお断りいたします
- ご参加予定の方が当日お越しにならない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も可能な場合は、下記の規程によりキャンセル料を申し受けますので予めご了承ください

<新型コロナウイルス感染防止対策にかかるお願いとお断り>

- ・参加にあたっては必ずマスクの着用をお願いいたします
- ・熱が37.5度以上ある場合はご参加できません
- ・会場設置の消毒液で必ず手指消毒をお願いします
- ・発熱、咳・咽頭痛など風邪のような症状がある方、基礎疾患をお持ちの方で感染リスクを心配される方のご参加はお控えください

※キャンセル申し込み方法はメールのみ（いずれも土日曜・祝祭日は、上記日数に含まれません）
開催当日および前日の取消し：参加料全額 開催の2日前～7日前の取消し：参加料の30%

4. お申し込み・講座内容のお問合せ先

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 普及推進部 中部事務所
愛知県名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル3階
電話番号：052-561-5634 E-Mail：jipmchubu@jipm.or.jp

■免責事項

天災地変や伝染病の流行、受講環境、輸送機関のサービスの停止、官公庁の指示などの当会が管理できない事由により研修内容の一部変更及び中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます。

■個人情報に関する取り扱いについて

当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ(<https://www.jipm.or.jp/>)をご覧ください。

お申し込みはWEBサイトから <https://www.jipm.or.jp/offer/>